

ACCSION ジャパンネット銀から招へい

セブン銀行子会社でセキユリティーを専門に扱うACCSIONは、9月から他金融機



小澤氏

関の意向者を受け入れられている。ジャパンネット銀行でサイバーセキュリティ対策室長を務める小澤一仁氏を招へいし、ネット銀行で培った知見を不正取引対策のシステムに生かす。同社は、不正検知

プラットフォーム「Detecter」(ディテッカー)を提供している。銀行サービスへのアクセス者の情報などから、不正な申し込みを監視する。さまざまな企業が保有する情報を統合して、検知の精度を高められる。

「不正対策は非競争領域であり、協力しあって取り組む分野」(安田貴紀CEO)と、人材交流によってノウハウの共有化を図る。小澤氏は「共同利用できる製品の高度化により、業界内の対策水準を底上げしたい」と意気込む。

同社は、6月から静岡銀行にサービス提供を始めている。今後は、地域金融機関との人材交流も拡大していく意向。

